Evo Bus 社製 連節バスの緩衝装置（エアスプリング）、走行装置（ホイールハブキャリア）、
排出ガス発散防止装置（制御プログラム）のリコールについて

Evo Bus 社製 連節バスの緩衝装置（エアスプリング）、走行装置（ホイールハブキャリア）、排出ガス発散防止装置（制御プログラム）について、令和 3 年 7 月 20 日に下記のリコールを国土交通省に届け出ました。ご愛用車の措置について、販売会社から早急にご連絡・ご相談をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。
ユーザの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

リコール届出番号	外－3257	リコール開始日	令和 3 年 7 月 21 日
不具合の部位(部品名)	① 緩衝装置（エアスプリング） ② 走行装置（ホイールハブキャリア） ③ 排出ガス発散防止装置（制御プログラム）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	連節バスにおいて、 ① 車軸に装着されているエアスプリングのピストン取付ボルトが規定トルクで締付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該取付ボルトが緩んでピストンが脱落するおそれがある。 ② センターアクスルに装着されているホイールハブキャリアの取付ボルトが規定トルクで締付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該取付ボルトが緩み、最悪の場合、ホイールハブキャリアごとタイヤが脱落するおそれがある。 ③ 後処理装置コントロールユニットの制御プログラムが不適切なため、尿素水の温度センサーが故障した際に警告灯が点灯しない。そのため、ドライバーが当該センサーの故障を検知できない。		
改善措置の内容	① 全車両、エアスプリングのピストン取付ボルトを規定のトルクで締付ける。 ② 全車両、センターアクスルのホイールハブキャリア取付ボルトの締付け状態を点検し、当該取付ボルトに緩みが認められた場合は、センターアクスルを交換する。 ③ 全車両、後処理装置コントロールユニットの制御プログラムを対策品に書き換える。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
ﾒﾙｾﾃﾞｽ・ﾍﾞﾝﾂ	不明	「Citaro-G」	WEB628218231304l8～WEB628218231390l6 平成 28 年 8 月 22 日～令和 2 年 1 月 29 日	33	① 33 ② 2 ③ 11
	(計 1 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 28 年 8 月 22 日～令和 2 年 1 月 29 日	(計 33 台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
ﾒﾙｾﾃﾞｽ・ﾍﾞﾝﾂ	不明	「Citaro-G」	普通・乗合	ﾘﾔｰｴﾝｼﾞﾝ	457 (11,967)	連節ﾊﾞｽ